

**令和８年度ＤＸ協働モデル事例創出プロジェクト実施業務
公募型プロポーザル選定委員会議事要旨（第１次審査）**

項目		内容
1	日時	令和８年７月２８日から令和８年７月２９日まで
2	場所	書類審査のため、各委員に持ち回り
3	出席委員	商工労働局地域経済支援担当部長 総務局ＤＸ推進課長 商工労働局イノベーション推進チーム担当課長 商工労働局中小企業支援課長 商工労働局経営革新課担当課長
4	議題	令和８年度ＤＸ協働モデル事例創出プロジェクト実施業務公募型プロポーザルに係る第１次審査（書面審査）について
5	担当部署	商工労働局経営革新課
6	開催方法	持ち回り
7	議事内容	選定委員会において、提出された企画提案書を基に書面審査を行い、得点が上位の３社を第２次審査（プレゼンテーション審査）の対象として選定した。 D社：株式会社イーグリッド E社：株式会社サーキュレーション F社：NTT西日本株式会社中国支店（グループ企業体） G社：株式会社エル・ティール・エス H社：有限責任監査法人トーマツ広島事務所 各選定委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。 【D社】 - アンケートやワークショップに頼らずヒアリングで個社の課題を把握することに注力する姿勢は良いが、その前の事業者募集段階で有力な協力機関・団体が見えない点が不安。 - 課題把握、募集、ワークショップ手法（デジタルトランスフォーメーション実践支援のフレーム活用）など、仕様書に沿った提案内容となっているが、やや協働の概念の取組が少ない。 - 事業目的を踏まえた実施方針が整理されており、全体として要件を踏まえた提案となっている。一方で、想定されるテーマ設定については、具体性や実現イメージの面で、他提案と比較すると見劣りする内容であった。

		- 自由提案は、課題とフィットした独自性の高い内容として評価したい。 - 外部連携による実施体制や4テーマの提案など高く評価できる一方で、複数事業者間での連携方法やそのメリットなど、各テーマの内容についてももう少し具体的な内容の説明が欲しかった。 【E社】 - テーマ設定に当たり、対象企業のD X取組段階を意識していることが明確に示されている点が好印象。 - 趣旨を理解し、支援団体を活用した手法、磨き上げなど、具体的かつ効果的な手法が提案されている。自由提案も多角的で効果が期待できる。 - 課題やニーズの把握方法や支援機関との連携を意識した提案となっており、全体として要件を踏まえた提案となっている。一方で、想定されるテーマ設定については、具体性や実現イメージの面で、他提案と比較してやや不足していた。 - 共通課題の整理の仕方について、成果が期待できるものと評価する。 - 課題の設定や、検証仮説の設定、また本格展開の判断基準の明確化などについては、高く評価できる。一方で、設定する4テーマ（特に業界団体をターゲットにしたテーマ）や自由提案の内容について、もっと具体的な説明が欲しかった。 【F社】 - 各テーマ案の内容は、既に一定のデジタル化実績や人員の余裕がある企業を対象とするもので、この事業の主対象からは外れている印象。 - 地域ネットワークを活用した確実な事業者発掘・選定プロセスの具体化はわかりやすい。入念なデータに基づく手法検討やK P I など事業の確実な実施が期待できる。 - 本業務の実績を踏まえ、小規模事業者等の課題やニーズを的確に把握した上で、具体的なテーマ設定が提案されていた。また、D X推進や参加事業者への継続的な支援を見据えた自由提案も盛り込まれており、豊富な類似業務の実績を生かした着実な事業実施が期待できる提案であった。 - 課題に対する自社の深い考察があり、また、各テーマについて、考え方や実施方針が具体的であり、成果検証が行いやすい点を評価する。 - 販路・観光・物流の3つにテーマを絞っているが、それぞれのプロジェクトの具体的な内容が示されており、課題分析、ワークショップの実施や実証など、効果的な事業の運営が期待できる。一方で、物流テ
--	--	--

		ーマについては特定の越境E Cプラットフォームの利用を前提としているように見える点が気になる。 【G社】 ・ テーマごとの実施内容の設定が現実的。ただし、運輸関係については、どこまでアプローチできるか未知数である。 ・ テーマごとの業界団体と連携することで、動員の再現性と確実性を担保している点が評価できる。協働の概念を示すキャッチコピーは目を引く。 ・ テーマ設定や協働プロジェクトの実施体制について具体的に提案されており、実現性の高い内容となっていた。事業目的を踏まえた着実な事業実施が期待できる提案であった。 ・ テーマ設定について、独自の見解と取組が具体的にになっている点を評価する。 ・ 4 業界に対する課題分析と解決策が整理され、また、法務・セキュリティ講座といった自由提案など高く評価できる。一方、複数事業者間での連携メリットや連携手法についての説明がもっと欲しかった。なお、本県の他事業とテーマが重複している部分があるため、調整を要する点に留意が必要である。 【H社】 ・ 観光に着目したテーマ案としているのは面白いが、商店街を含め、零細事業者にとって真に導入すべき最初のデジタル化ニーズがどこにあるのか、つかみ切れていないのではないか。 ・ 業界団体構造から協働モデルを生み出すアイデアは評価できる。マイルドセット等に手厚い支援が期待できる。ややテーマが限定的か。 ・ 定性・定量の両面から成果目標が具体的に整理されているとともに、県東部を対象としたニーズ調査など、今後の事業展開を見据えた自由提案が盛り込まれており、本業務の効果的な実施が期待できる提案であった。 ・ テーマの内容については、多くの事業者の賛同を得やすい内容であることを評価する。 ・ 観光・インバウンドと商店街エリアの連動も踏まえながら、地域課題の解決を目指すアプローチの方向性は、難易度は少々高いと思われるものの評価できる。一方で、プロジェクトの成果目標についての説明が十分でない点は否めない。
--	--	---